

以下、本文-----

## 〇〇に関する研究

当院における子宮内胎児死亡を伴う常位胎盤早期剥離症例の検討

### 1. 研究の対象

2001年6月～2019年5月に当院で常位胎盤早期剥離による子宮内胎児死亡と診断され治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

子宮内胎児死亡を伴う常位胎盤早期剥離症例の分娩様式は、欧米では経膣分娩が推奨されているが、本邦では帝王切開を選択する施設も多い。

当院では2009年以降、経膣分娩を第一選択としており、本研究ではそれ以前に行われていた帝王切開症例との比較検討を行った。これにより、経膣分娩の安全性や利点、欠点、注意点を明確とし、今後の診療に貢献することを期待するものである。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、妊娠出産歴、分娩時の年齢、分娩時の出血量、分娩所要時間、臨床検査値、入院日数 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地

岐阜県立多治見病院産婦人科

研究責任者 柘植志織

0572-22-5311

-----以上